瀬戸内フラム塾「地域型芸術祭のつくられ方」受講申込書

記入欄が足りない場合は、
別紙を設けて添付してください

（ふりがな） 氏　名		性別	男 ・ 女	＜顔写真を添付＞ [規格] 縦４cm×横３cm程度 本人のみが写ったもの 脱帽で正面を向いたもの
生年月日		年齢		
住　所	（〒　　ー　　）	国籍		
電話・FAX番号	電話（　　）　　ー	FAX（　　）　　ー		
Emailアドレス				
所属団体等名称		役職		
職歴（簡潔に）				
保有資格等				
瀬戸内国際芸術祭 来場経験の有無	有 （ 2010 ・ 2013 ・ 2016 ） ／ 無			
芸術祭での活動実績 （瀬戸内国際芸術祭以外でも可）	有 （主な実績活動↓） ／ 無			
瀬戸内国際芸術祭 2019において取り 組んでみたいことや 自己PR				

【質問】　ある朝、あなたは、瀬戸内国際芸術祭のスタッフとして、午後に島で開催されるイベントの準備を行うため、港の乗船切符売り場に来ています。アーティストやその他のスタッフたちは既に島に渡って準備を始めています。あなたは、切符を買ってフェリー乗り場に向かおうとしますが、イベント用の重い器材が入った大きな段ボール箱を3個持ち運ばなければならず、思うように進むことが出来ません。船の出航時刻が刻一刻と差し迫っています。この時、あなたは、どのように対応しますか？

【回答】　別紙（A4以内）に書いて提出してください。

瀬戸内フラム塾「地域型芸術祭のつくられ方」

「美術は地域をひらく」

２０１０年の「瀬戸内国際芸術祭」を皮切りに瀬戸内の島々で、また２０００年からの越後妻有の「大地の芸術祭」で続けられてきたアートを媒介とした地域づくりの取組みは、「大地の芸術祭・瀬戸芸」モデルとして日本国内に芸術祭ブームを呼び起こしました。同時に欧米では見られないこの方法は、ここ数年で世界的な注目を浴びるようになり、とりわけアジア各国からの高い関心を集め、いま国際的な拡がりを見せつつあります。

２０１９年の第４回の瀬戸内国際芸術祭を迎えて、同実行委員会は越後妻有の協力を得て、「瀬戸内フラム塾『地域型芸術祭のつくられ方』」を来年から開催いたします。これは２０１６年の「瀬戸内『食』のフラム塾」と「瀬戸内アジアフォーラム」の成果を踏まえ、より広く深く「芸術祭のつくられ方」を知り、地域づくり、作品制作、イベント運営、食の展開のためのプロフェッショナルを育成しようという目的によるものです。

芸術祭は今、なぜ閉塞化した社会の中で大きな開口部になりえているのか。美術は地域に、社会にどう関わっていけるかという基礎から始まり、地域計画・作品制作・イベント運営・食の展開を講師・専門家のもとに体験し、その準備を経て実践で学ぶというプログラムになっています。座学は高松で、体験・実践は瀬戸内・越後妻有で行われます。地域と旅行者をつなぐ役割がますます大切になっている今、志のある人々の参加を募ります。

塾頭　北川フラム

目　的 ｜ 瀬戸内国際芸術祭２０１９の開催に向けて、アーティストが行う作品制作やイベント開催などの活動の 支援、アートの展開を通じた地域住民・ボランティアサポーターとの地域再生に向けた取組み、飲食、宿泊の提供など、芸術祭を様々な角度から支え、地域の活性化を担う人材を募集します。

主　催 ｜ 瀬戸内国際芸術祭実行委員会　　共　催 ｜ 公益財団法人 福武財団

塾　頭 ｜ 北川フラム（瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター）　　顧　問 ｜ 三矢昌洋（香川県観光協会会長）

世話人 ｜ 塚本光輝（株式会社4D/GROUNDWORK 代表取締役・プロデューサー）、成瀬拓也（株式会社ウィルフォワード 代表取締役プロデューサー）、宇野 恵信（公益財団法人 福武財団 サービス開発部門長）、甘利彩子（NPO法人瀬戸内こえびネットワーク事務局長・こえび隊）

協　力 ｜ 豊島「食プロジェクト」推進協議会、NPO法人越後妻有里山協働機構、NPO法人瀬戸内こえびネットワークなど